



私の学校・学級では

こんな取組が効果的でした！

授業では

学習内容を明確にしました！

- 「今日は〇〇ができたなら満点」のように、授業のゴールを示すようにしました。
- 本時の内容が、他の教科書ではどのように扱われているのかを見比べて教材研究をしました。

導入を工夫しました！

- 日常生活と関連付けるなど、解決の必要性を感じさせる課題を設定しました。
- 課題は児童とともに設定しました。
- 導入場面では、掲示物等を活用し、本時の学習内容に関係のある既習事項を復習しました。

発言の取り上げ方を工夫しました！

- 挙手する児童の発言だけで授業を進めないようにしました。(児童の発言を聞く、繋ぐ、返す)
- 「なぜ？」という問い返しを何度も行いました。

学び合う場面を設定しました！

- 児童同士が自由に関わる時間を設定しました。
- 自分の考えだけでなく、ペアを組んだ相手の考えを説明する場面を設定しました。
- 教員が範を示しながら、児童同士が互いの発言に問い返しができるようにしました。

学力層に応じた支援を心掛けました！

- 早く問題を解き終えた児童のために、プラスアルファのプリントを準備しました。
- 課題に取り組めない児童のために、穴埋め式のワークシートやヒントカードを用意しました。

板書やノートを充実させました！

- 課題は青、まとめは赤で囲むなど、板書とノートの色使いを統一しました。
- 1時間の思考の流れが分かるような板書づくりを意識しました。
- 板書を写真に撮り、教員同士で共有しました。

まとめ・振り返りを必ず行いました！

- 課題に正対したまとめを、児童と一緒に考えるようにしました。
- どの授業でも必ず、自分が学んだことを振り返る(見直す)時間を設定しました。



家庭学習・補充学習では

保護者との連携を図りました！

- 家庭学習の目安の時間、内容などについて児童と保護者、学校で共通理解を図りました。
- 児童が保護者に説明をする課題を出したり、県学調復習シートの丸付けを保護者をお願いしたりするなど、家庭の協力が必要な宿題も出しました。
- 家庭学習の参考になるよう、全国学調の問題を保護者にも解いてもらいました。

学習コーナーを活用しました！

- 全国学調の過去問題や県学調復習シートを印刷し、児童が活用できるコーナーに設置したり、問題集として配布したりするなど、自由に取り組めるようにしました。
- 宿題をがんばった児童を表彰しました。
- よい家庭学習のノートを、お手本として掲示しました。

補充学習を充実させました！

- 朝学習では、発展的な問題や全国学調の問題を解かせ、解説を行いました。
- 昼休みにベースアップタイムとして弱点を補充する時間を作りました。



学力調査・その他の取組では

学力調査問題を活用しました！

- 全国学調を全教員が解きました。
- 全国学調の問題を単元内に位置付けて、授業で扱うようにしました。
- 授業において、県学調復習シートの中から、本時の内容に合った問題を出題しました。

同じ指導ができるようにしました！

- 授業規律、授業の流れ（個人→グループ→学級全体→個人）を校内で統一しました。
- 授業参観時は、学校で統一した授業分析シートを使用し、授業参観の視点をそろえることで、授業研究を行いやすくしました。

学校全体では

情報の共有を図りました！

- 自分の作成した教材を、他の教員にも配布するなど教材を共有化することを心掛けました。
- 他クラスの児童も積極的にほめるようにするなど、他学級・他学年の様子にも目を配り、情報を共有するようにしました。
- 保護者には、成長したこと、がんばったことなど、よいことを積極的に伝えるようにしました。

率先垂範を心掛けました！

- 校内でのルールを統一し、教員が率先して守りました。（時間、挨拶、大きな歌声等）
- 課題のある児童には、積極的な声掛けや日記の交換など、深く関わるようにしました。

指導形態を工夫しました！

- 教科担任制を実施しました。
- レディネステストを実施し、自分自身の習熟度にあったコースを選ばせました。

学年・学級経営では

朝の会、帰りの会を充実させました！

- 朝の会で「今日のめあて」を提示し、帰りの会で「めあてに対する振り返り」を行いました。
- 連絡帳に、一行日記を書くようにしたところ、保護者からよい反響がたくさんありました。

教室環境を整えました！

- 学習したことや行事の様子等を掲示し、学級の思い出を共有しました。（行事の写真も掲示しました。）
- ユニバーサルデザインの視点から、教室前面の掲示を精査しました。

学級の雰囲気づくりを大切にしました！

- よいことがあったときに、声を掛け合ったり、喜びを共有するポーズをとったりするようにしました。
- いじめゼロ宣言として、いじめに対する自分の決意を掲示しました。
- マラソンや長縄、外遊びなど、できる限り一緒に活動し、コミュニケーションをとりました。

一人一人に役割を持たせました！

- 学校行事で全員に役割を持たせる、話し合い活動の計画委員を一人一回行うなど、全員が他者の役に立つ場面を作りました。
- 活躍に対して、児童同士がMVPを指名したり、ほめほめカードで認め合ったり、担任・管理職からの表彰を行ったりすることで、自己肯定感を高めるようにしました。

道徳の授業を工夫しました！

- 心の変化が分かるような教具を作るなど、心の様子や変化を「見える化」するようにしました。
- 少人数での話し合いを意図的に取り入れ、自分の思いを表出できるようにしました。
- 授業中の児童の良かったところをまとめた「良いところ通知表」を作成し、記録を残すようにしました。



よい取組を、みんなで共有しましょう！

※本資料は、実践事例を紹介したものです。各学校での取組の参考にしてください。